

# 令和3年度(初級)知的財産権研修 実施報告

令和4年3月

独立行政法人工業所有権情報・研修館(INPIT)では、令和3年度(初級)知的財産権研修をオンラインで2回実施いたしました。  
本研修では、地方自治体、政府関係機関、公益法人等において知的財産権に関する業務に従事する職員等を主な対象に、IP ePlat上でのオンデマンド講義の事前受講や当日のオンライン講義の受講により、知的財産制度の理解を深め、業務遂行に必要な基礎知識を学習いただきました。

1. 研修の概要				
(1)日程	第1回		第2回	
	6月1日～3日 (3日間)		11月9日～11日 (3日間)	
(2)開催地	オンライン		オンライン	
(3)参加人数	71名(全科目26名、必須科目のみ45名)		45名(全科目21名、必須科目のみ24名)	
(4)講師	14名		14名	
2. アンケート結果(回収率:第1回 89%, 第2回 84%)				
(1)研修全体として	人数	割合	人数	割合
・非常に有意義であった	26名	41%	19名	50%
・有意義であった	35名	56%	18名	47%
・どちらとも言えない	2名	3%	1名	3%
・有意義でなかった	0名	0%	0名	0%
・とても有意義でなかった	0名	0%	0名	0%
・無回答	8名	—	7名	—
(2)主な意見・要望	<b>【産業財産権制度の概要】</b> ・産業財産権制度の幅広い内容を見て回ることができ、導入として最適だった。 ・知的財産に関する概要を掴むことができ、身近な例を交えながらの説明でわかりやすかった。 ・基本的な権利についてそれぞれ分かりやすく教えていただき、全体的な骨組みを理解することができた。			
	<b>【特許制度の概要】</b> ・制度の仕組みや基本要件、特許の活用法など幅広い論点を扱った充実の内容であった。 ・特許とはどういうものなのか、どんな権利が関わってくるのかを実例を交えて説明していただけたので理解しやすかった。 ・堅苦しくなくオープンで親しみが持てた。			
	<b>【著作権法の概要】</b> ・実例を提示しながらの説明であったため、わかりやすく楽しく学習受講することができた。 ・著作権の話は遠いように感じていたが、すぐ近くで起こっていることだと気がついた。 ・写真、図表等ほとんどのものが著作物に相当するので、しっかりと留意する必要性をこの講義で感じた。			
	<b>【権利侵害について】</b> ・各説明に、実例などを挙げながらご説明頂けたので、とてもわかりやすく、頭に入りやすかった。 ・特許権侵害を起こすと大変なことになることが切実にわかった。 ・権利侵害のみに特化する講義はありそうでないので、とても良かった。			
	<b>【知的財産に関する契約について】</b> ・遠い内容かと思っていたら、守秘義務契約や共同研究契約など大学でよくある契約が中心で、大いに役立つと感じた。 ・共同研究契約書や秘密保持契約書等、身近な内容をわかりやすく説明いただき非常に良かった。 ・契約についてはあまり知見はなかったがわかりやすく程よいレベルだった。			

**【知的財産と標準】**

- ・知財と標準との関係について深く考えたことがなかったのでとても新鮮であった。
- ・豊富な実例にイメージが膨らみ、理解が進んだ。
- ・知財という、特許に目が向きがちだが、標準について学ぶことは重要であることを学ぶことができた。

**【地域ブランド】**

- ・テーマが絞られているので聞きやすく、また、難しい用語もないので、内容理解に集中できた。
- ・これまでの経緯や戦略のありかた等について興味のもてる内容だった。
- ・地域ブランドというテーマですが、地域に限らず、メーカーや大学などのブランドにも通じる場所があり、考え方が広がった。

**【不正競争防止法の概要】**

- ・少し難しいと思ったが、オンデマンドなので、わからない単語が出てきた時は一時停止して検索することで、内容についていくことができた。
- ・不正競争防止法に特化して、用語の説明から具体例、民事の類型、刑事の類型などテンポ良く進み、短時間で概要を感じる事ができた。
- ・初級編として大枠が理解できたので、レベル的にちょうど良かった。

**【意匠制度の概要】**

- ・審査に携わられた講師の方の目線からのお話、勉強になることが多かった。
- ・各制度の効果についてもご説明いただいたため、制度の裏付けや意義についても学習でき、収穫の多い講義と感じた。
- ・法改正の部分も伺え、とても勉強になった。

**【商標制度の概要】**

- ・なかなか商標をターゲットに勉強する機会がなかったが、初級にふさわしく概要を知ることができて良かった。
- ・ディスカッションでは他の方の考え方も伺え、参考になった。
- ・商標は日頃から周りにある問題なので、興味深く大変勉強になった。

**【産学連携の推進(大学の活用術)】**

- ・知財については初心者なので、事例を挙げての説明がわかりやすかった。
- ・産学連携の具体例を聞いたのがとても良かった。本当に、種はどこにでも転がっている可能性があるのだなと実感できた。
- ・企業と大学などが連携する理由を知ることができ、大変満足している。

**【種苗法の概要】**

- ・最近報道でも話題になっていた内容であり、制度上の課題や対応がよくわかった。
- ・種苗法とは何か、どのような効力を持つのか、概要を把握することができ、たいへん有意義だった。
- ・成立の背景から、直近の法改正など基本的な情報から最新の動向までお話いただき大変勉強になった。

**【知財管理について①】**

- ・知財に係る税務という観点の今まで接したことの無い切り口での説明で、大変勉強になった。
- ・財務・税務を含めた実務レベルの内容だったので、興味深いものであった。
- ・弁理士・税理士という視点が、これまでの講義になくて新鮮で、かつ、実務上、必要なことが多いと感じた。

**【知財管理について②】**

- ・具体例を用いて説明いただいたことで、イメージがついて良かった。
- ・50分という時間で、コンパクトに深い内容を学べたので、充実感があつた。
- ・市販教材では得られない知識なので、大変有意義であった。

**【グループ演習】**

- ・グループ演習を通して発明・特許についての理解を深めることができた。
- ・様々な観点から意見がお伺いできて勉強になった。
- ・普段お話しをすることのない方々と課題について議論、選定の演習ができ、大変勉強になった。

**【研修全体について】**

- ・色々な角度から知的財産の理解のために、アプローチいただき、先生方の個性も豊かで、楽しみながら受講できた。
- ・具体的な例を挟みながら説明していただいたので大変わかりやすく、どの講義においても内容が充実していたので非常に有意義だった。
- ・通常業務としては特許・実用新案が対象ですが、幅広い内容と比較しながら、知財に対してより深い理解ができた。
- ・短期で知識と背景を体系的に理解することができ、大変良かった。新しい視点を得たことが一番大きい。
- ・講師の方々が、全員本当に素晴らしく、最新の動向を熱心に指導くださったことが印象に残った。